

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	府中市立府中学園	対象となる主な学年	第9学年
取組事例名	体育祭実行委員が企画・運営を担う「体育祭（1年生～9年生）」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事において意欲的に取り組もうとする生徒が多い。一方で、係や掃除などの日々の役割に責任を果たせなかったり、自分の思いや考えを伝えたり、話し合ったりすることに苦手意識をもつ生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士で協力して行う活動を通して、他者を尊重し優しさのあるあったかい生徒を育てる。 ・実行委員会を設置して体育祭に関わることを通して、主体性や協働性を養い、学園のリーダーとして学園を引っ張っていくことができる生徒を育てる。



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい

- ・他者を尊重し優しさのあるあったかい生徒を育てるために、団体種目における競技をより生徒同士で協力できるものや、チーム内で作戦が立てられるものにする。また、競技上困難を抱える生徒がいる場合、公平性を期すために全員が納得の上で競技のルールを変更してもよいこととしている。
- ・主体性や協働性を養うために、実行委員に体育祭の運営の一部を任せ、9年生全員に当日の役割を与える。

取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等

<（事前の指導・導入）>

- ・自分たちの力で「体育祭を作りあげる」という意識をもたせるために、実行委員会を組織し企画・運営の一部を任せた。よりよい体育祭にするために、生徒は新たな取組として「お弁当タイム」「部活動パフォーマンスリレー」を学校長に提案し実現した。【自己決定の場の提供】
- ・体育祭の応援リーダー（団長・副団長）について求める条件を示し、立候補を募った。立候補者が多数出たため選考試験を行い、リーダーを決定した。【自己決定の場の提供】

<応援リーダー会の実施>

- ・全体の練習の予定について事前に伝え、団ごとにどのような練習を行うかを計画させた。活動内容等についてはリーダーに委ねた。活動内容の振り返りも行い、気付き等は応援リーダー会で伝えた。全体練習の場では、教師の指示を極力減らし、応援リーダーの裁量を多く与えるようにした。【自己決定の場の提供】

<運営（準備・片付け・放送・競技の審判等）の役割を9年生全員に与える>

- ・一人一人に役割を与えることで、最後まで責任感をもって仕事をやりきる姿が見られた。また、応援リーダーのように表舞台で活躍するだけでなく、裏方としても活動する9年生の姿に、後輩たちが憧れや感謝の気持ちをもつようになった。【自己存在感の感受】

<（事後の指導）>

- ・振り返りの場面では、「自分たちの力で、お弁当タイム等の新たな取組ができたのはよかった。」「自分の役割を最後までやりきれて自信がついた。」という声があった。また、後輩から感謝のメッセージをもらい、大きな自信と達成感を感じていた。【自己存在感の感受】【共感的人間関係の育成】



◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

アンケート項目	肯定的回答 (8年時・R7.1月)	肯定的回答 (9年時・R7.6月)
自分は、様々な行事で役割を果たすことができている。	84.3%	93.6%
自分は、様々な行事で達成感を感じることができています。	92.6%	95.0%
自分は、様々な行事で他の学年の人と関わることが楽しいと感じます。	76.0%	86.6%
自分は、府中学園の行事が盛り上がり上がっていると思います。	95.0%	96.0%

○行事の中で自己決定の場面や一人一人に役割を与えることで、自分の役割に責任をもって最後までやりきる経験を積み、非常に高い達成感を感じることができている。

●自分の役割に責任をもつ、お互いの思いや考えを伝え合い合意形成を図るなど、行事で学んだことを日々の生活に活かせるように指導を行う。